



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月13日

上場取引所 東名

上場会社名 大同メタル工業株式会社

コード番号 7245 URL <http://www.daidometal.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼最高経営責任者 (氏名) 判 治 誠 吾

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務兼上席執行役員 (氏名) 佐々木 利 行

経営・財務企画ユニット長

TEL 052-205-1401

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日

配当支払開始予定日

平成26年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	40,450	9.7	3,961	4.4	4,144	0.1	2,219	△2.5
26年3月期第2四半期	36,867	4.3	3,795	△2.0	4,139	6.6	2,277	△2.5

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 2,387百万円 (△49.4%) 26年3月期第2四半期 4,722百万円 (97.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	55.73	—
26年3月期第2四半期	57.18	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	106,908	48,305	37.6
26年3月期	104,099	46,733	37.3

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 40,216百万円 26年3月期 38,840百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	7.00	—	10.00	17.00
27年3月期	—	10.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,000	3.4	7,800	5.9	8,100	0.5	4,800	1.4	120.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	44,956,853 株	26年3月期	44,956,853 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	5,137,897 株	26年3月期	5,133,324 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	39,821,759 株	26年3月期2Q	39,830,320 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【決算補足説明資料の入手方法】

決算補足説明資料『2015年3月期 第2四半期(累計)【連結】決算ハイライト』はTDnetで同日開示しています。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では雇用環境の改善を背景とした個人消費の増加、内需の底堅さなどにより景気は緩やかな回復基調となりました。欧州経済は持ち直しの兆しが見られたものの、輸出の伸び悩みなどにより依然として力強さに欠け、中国では経済成長は緩やかに推移しましたが、不動産市場の低迷が続くなど足元では先行き不透明感がより強まっています。一方、わが国経済は、緩やかな回復基調にあったものの、消費税増税後の反動減からの持ち直しに鈍さが見られるなど足踏み状態で推移しました。

当社グループの主力事業である自動車産業分野につきましては、国内では消費税増税後の回復が遅れ販売台数は減少しましたが、生産台数については、当第2四半期前半では消費税増税前の受注残の解消等により堅調に推移し、後半は前年同期に比べ減少したものの当第2四半期累計では、ほぼ前年同期並みとなりました。海外では米国、中国が堅調に推移し、加えて欧州の回復基調により、世界全体の生産・販売台数はともに前年同期を上回りました。

造船業界につきましては、国内では円安による輸出競争力の回復や燃費・耐久性等品質面での優位性から受注環境は改善方向にあったものの、当第2四半期後半では一服感が見受けられ、世界全体においても船腹が過剰な状態は解消されておらず、需給バランスの改善にはしばらく時間を要するものと思われまます。

建設機械業界につきましては、鉱山機械の需要は資源価格の下落、資源会社の投資抑制の影響等により引続き低迷しました。一般建設機械では北米での需要は回復傾向で推移した一方で、中国においては不動産投資の鈍化などにより需要の落ち込みが見られました。国内では復興関連向けの需要などが堅調に推移しました。

一般産業分野につきましては、回転機械等の需要は堅調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績につきましては、主に欧米や中国を中心に自動車産業関連が堅調に推移し、北米での一般建設機械の需要が回復してきたことなどから、グループ全体での売上高は404億50百万円と前年同四半期に比べて35億83百万円(+9.7%)の増収となりました。

利益面では、中期経営計画に沿ったグローバルベースでの事業拡大に伴う各種先行費用などの計上がありました。営業利益は39億61百万円と前年同四半期に比べて1億65百万円(+4.4%)の増益となりました。経常利益は41億44百万円と前年同四半期に比べ4百万円(+0.1%)の微増となりました。これは、前年同四半期においては為替差益を3億11百万円計上いたしましたが、当四半期は為替差損を1億円計上したことなどによる減益要因と、支払利息が前年同四半期に比べ87百万円減少した増益要因などによるものです。四半期純利益は22億19百万円と前年同四半期に比べ58百万円(△2.5%)の減益となりました。これは、前年同四半期においては、固定資産売却益を1億94百万円計上したことなどによるものです。

セグメントごとの外部顧客への売上高は、次のとおりです。

## ① 自動車用エンジン軸受

国内では、消費税増税後の需要回復の遅れに伴い自動車販売の不振による影響が見受けられたものの、海外においては特に欧米や中国における販売が増加したことなどから、売上高は262億55百万円と前年同四半期比24億57百万円(+10.3%)の増収となりました。

## ② 自動車用エンジン以外軸受

自動車部品用軸受につきましては、国内販売は堅調に推移し、欧州における拡販活動の効果で販売が伸長したことなどから、売上高は80億68百万円と前年同四半期比9億73百万円(+13.7%)の増収となりました。

## ③ 非自動車用軸受

船舶は、欧州での中小型船舶向け中高速ディーゼルエンジン用軸受の販売が低迷している一方で、国内では大型船舶向け低速ディーゼルエンジン用軸受が徐々に回復へ向かい、また北米における一般建設機械向けの販売も堅調に推移したことなどから、売上高は57億15百万円と前年同四半期比4千8百万円(+0.9%)の増収となりました。

## ④ その他

金属系無潤滑軸受事業は堅調に推移し、不動産賃貸事業等を合わせた売上高は4億10百万円と前年同四半期比1億3百万円(+33.6%)の増収となりました。

なお、平成25年7月1日付の組織変更により、従来「非自動車用軸受」に含めておりました金属系無潤滑軸受事業を「その他」に変更しております。上記比較は変更後の区分方法によるものです。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間における総資産は1,069億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ28億8百万円増加いたしました。

流動資産は543億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ25億77百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が増加したこと等によります。

固定資産は525億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億31百万円増加いたしました。これは主に投資その他の資産が増加したこと等によります。

負債につきましては586億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億36百万円増加いたしました。これは主に電子記録債務が増加したこと等によります。

純資産は483億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億72百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が増加したこと等によります。

自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.3ポイント増加し、37.6%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、36億70百万円の収入となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益41億44百万円等があったことによります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、29億19百万円の支出となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出31億56百万円等があったことによります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、8億9百万円の支出となりました。これは主に長期借入れによる収入が減少したこと等によります。

以上により、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は112億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億97百万円減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の通期の業績予想につきましては、平成26年5月14日に公表いたしました予想値に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間を基礎に決定した期間に近似する債券の利回りを割引率として使用する的方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する的方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が299,267千円増加し、利益剰余金が190,914千円減少しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,047,664	11,592,175
受取手形及び売掛金	21,057,988	23,021,493
有価証券	755	—
商品及び製品	6,998,336	6,750,909
仕掛品	5,765,423	6,660,912
原材料及び貯蔵品	3,143,785	3,387,629
その他	2,790,274	2,964,840
貸倒引当金	△61,206	△57,409
流動資産合計	51,743,023	54,320,551
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,276,955	13,860,002
機械装置及び運搬具(純額)	16,270,358	16,834,281
その他(純額)	15,044,319	14,630,956
有形固定資産合計	45,591,634	45,325,241
無形固定資産		
のれん	820,915	733,499
その他	1,110,447	1,149,700
無形固定資産合計	1,931,362	1,883,200
投資その他の資産		
投資その他の資産	4,875,843	5,421,769
貸倒引当金	△42,775	△42,725
投資その他の資産合計	4,833,067	5,379,044
固定資産合計	52,356,064	52,587,485
資産合計	104,099,088	106,908,036

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,938,944	5,908,320
電子記録債務	7,283,574	8,877,059
短期借入金	6,687,379	6,638,312
1年内償還予定の社債	75,000	—
1年内返済予定の長期借入金	2,387,389	2,202,281
未払法人税等	1,759,548	1,416,142
賞与引当金	1,508,405	1,391,129
役員賞与引当金	147,700	83,300
製品補償引当金	102,730	224,767
営業外電子記録債務	883,289	955,849
その他	5,324,755	5,072,564
流動負債合計	32,098,717	32,769,728
固定負債		
長期借入金	17,667,842	18,002,029
環境対策引当金	35,914	35,914
退職給付に係る負債	4,484,530	4,584,523
資産除去債務	17,720	17,720
負ののれん	3,761	3,494
その他	3,057,291	3,189,227
固定負債合計	25,267,059	25,832,908
負債合計	57,365,777	58,602,637
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,273,178	7,273,178
資本剰余金	7,946,245	7,946,245
利益剰余金	24,578,832	26,209,270
自己株式	△1,411,900	△1,417,844
株主資本合計	38,386,356	40,010,848
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	958,119	1,114,852
為替換算調整勘定	782,742	193,970
退職給付に係る調整累計額	△1,286,311	△1,103,493
その他の包括利益累計額合計	454,551	205,329
少数株主持分	7,892,403	8,089,221
純資産合計	46,733,310	48,305,399
負債純資産合計	104,099,088	106,908,036



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	36,867,202	40,450,771
売上原価	26,435,218	29,204,461
売上総利益	10,431,984	11,246,309
販売費及び一般管理費	6,636,345	7,285,071
営業利益	3,795,638	3,961,238
営業外収益		
受取利息	12,556	21,344
受取配当金	19,481	25,730
為替差益	311,038	—
負ののれん償却額	337	266
持分法による投資利益	79,715	88,350
スクラップ売却収入	238,135	271,928
その他	133,087	201,945
営業外収益合計	794,350	609,567
営業外費用		
支払利息	246,884	159,805
退職給付費用	128,725	128,725
為替差損	—	100,891
その他	75,101	37,201
営業外費用合計	450,711	426,623
経常利益	4,139,278	4,144,182
特別利益		
固定資産売却益	194,337	—
特別利益合計	194,337	—
特別損失		
減損損失	17,430	—
特別損失合計	17,430	—
税金等調整前四半期純利益	4,316,185	4,144,182
法人税、住民税及び事業税	1,082,047	1,425,318
法人税等調整額	299,998	73,450
法人税等合計	1,382,045	1,498,768
少数株主損益調整前四半期純利益	2,934,140	2,645,413
少数株主利益	656,546	425,826
四半期純利益	2,277,593	2,219,587

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,934,140	2,645,413
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	273,365	182,407
為替換算調整勘定	1,502,998	△710,724
退職給付に係る調整額	—	208,588
持分法適用会社に対する持分相当額	11,716	61,948
その他の包括利益合計	1,788,080	△257,779
四半期包括利益	4,722,220	2,387,634
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,674,102	1,970,365
少数株主に係る四半期包括利益	1,048,117	417,268

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,316,185	4,144,182
減価償却費	2,349,992	2,671,647
減損損失	17,430	—
のれん償却額	84,136	86,371
負ののれん償却額	△337	△266
持分法による投資損益(△は益)	△79,715	△88,350
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,264	△2,735
賞与引当金の増減額(△は減少)	△137,704	△115,848
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△73,850	△64,400
退職給付引当金の増減額(△は減少)	40,316	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	87,190
環境対策引当金の増減額(△は減少)	△1,557	—
受取利息及び受取配当金	△32,037	△47,075
支払利息	246,884	159,805
固定資産売却損益(△は益)	△194,337	—
売上債権の増減額(△は増加)	134,697	△2,155,598
たな卸資産の増減額(△は増加)	828,015	△1,084,345
仕入債務の増減額(△は減少)	93,108	1,764,238
未払消費税等の増減額(△は減少)	85,493	68,110
その他の負債の増減額(△は減少)	408,288	189,741
その他	△271,936	△54,211
小計	7,808,808	5,558,455
利息及び配当金の受取額	32,745	47,572
持分法適用会社からの配当金の受取額	4,470	6,920
利息の支払額	△256,559	△165,769
法人税等の支払額	△1,653,835	△1,776,263
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,935,628	3,670,914

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△469,357	△96,654
定期預金の払戻による収入	364,114	310,848
投資有価証券の取得による支出	△129,821	△89,820
有形固定資産の取得による支出	△4,607,168	△3,156,319
有形固定資産の売却による収入	316,652	265,575
無形固定資産の取得による支出	△164,622	△173,197
貸付けによる支出	△11,621	△6,546
貸付金の回収による収入	12,010	15,618
その他	△73,715	10,904
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△4,763,527</b>	<b>△2,919,590</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△887,809	△74,885
長期借入れによる収入	9,984,836	1,900,000
長期借入金の返済による支出	△1,316,674	△1,488,634
社債の償還による支出	△45,000	△75,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△384,517	△500,468
自己株式の取得による支出	△1,488	△5,944
配当金の支払額	△277,678	△399,166
少数株主への配当金の支払額	△113,944	△165,728
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>6,957,723</b>	<b>△809,828</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10,626	△159,211
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>8,119,198</b>	<b>△217,716</b>
現金及び現金同等物の期首残高	9,196,425	11,427,298
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	20,530
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,315,623	11,230,112

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

[前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)]

## ① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	自動車用 エンジン軸受	自動車用エン ジン以外軸受	非自動車用 軸受	計		
売上高						
外部顧客への売上高	23,798,133	7,094,853	5,667,066	36,560,054	307,148	36,867,202
セグメント間の内部売上 高又は振替高	254,815	482,837	7,308	744,962	43,372	788,335
計	24,052,949	7,577,691	5,674,375	37,305,016	350,521	37,655,538
セグメント利益	3,539,072	1,789,106	884,701	6,212,880	173,558	6,386,439

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金属系無潤滑軸受事業、不動産賃貸事業等を含んでおります。

## ② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	6,212,880
「その他」の区分の利益	173,558
セグメント間取引消去	35,919
全社費用(注)	△2,626,720
四半期連結損益計算書の営業利益	3,795,638

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## ③ 報告セグメントの変更等に関する事項

平成25年7月1日付の組織変更により、従来「非自動車用軸受」に含めておりました金属系無潤滑軸受事業を「その他」に変更しております。

なお、前第1四半期連結会計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

[当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)]

## ① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	自動車用 エンジン軸受	自動車用エン ジン以外軸受	非自動車用 軸受	計		
売上高						
外部顧客への売上高	26,255,960	8,068,480	5,715,999	40,040,440	410,331	40,450,771
セグメント間の内部売上 高又は振替高	637,388	557,715	18,577	1,213,681	41,560	1,255,242
計	26,893,349	8,626,195	5,734,577	41,254,122	451,891	41,706,013
セグメント利益	3,532,143	2,090,798	840,541	6,463,483	201,741	6,665,224

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金属系無潤滑軸受事業、不動産賃貸事業等を含んでおります。

## ② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	6,463,483
「その他」の区分の利益	201,741
セグメント間取引消去	△6,800
全社費用(注)	△2,697,185
四半期連結損益計算書の営業利益	3,961,238

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。